

農業における荷姿の物を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017 年 発生 月	時間	死傷災害発生事例	年 齢	労 働 者 規 模
3	7~8	仕込み場にて、シイタケ菌床のベースとなる栄養体（1袋約20kg）をフォークリフトのバケットに入れる作業をしていて、腰から背中にかけて痛みがはしり、痛みが治まらなかった。	67	—
4	11~12	リフトでトラックの荷台へフレコン（肥料）の積み込み作業中、荷台に積んだフレコン（肥料）から飛び降りる際にバランスを崩してしまい、地面へ右足の踵を強打ち骨折となる。	55	1~9
4	10~11	培土を苗箱に入れる作業中、約1tの培土が乗っている台車を移動しようとした際、狭い場所での作業で、台車の操作も不慣れだったため操作を誤り、左足が台車の車輪の下敷きになった。	53	10~29
4	11~12	圃場でじゃがいもを収穫し、トラックに積み込む作業中、コンテナを左足ひざの内側にぶつけて打撲した。	36	10~29
5	10~11	造園工事の際、土入りプランターレンガ（約20kg~30kg）を中腰姿勢で持ち上げた瞬間、腰に激痛を感じた。	38	1~9
7	16~17	敷地内で作業中に歩いて移動していたとき、敷地内に置いてあったコンテナに誤ってぶつかって転倒した際に、床に胸を強打した。	50	1~9
	16~	敷地内にて、午前に精米した米が入った紙袋（重さ30kg）を一時間に約40袋のペースでパレットに積み上げる作業を前日よりしていた。補助作業と並行していた作業		1

9	17	中、腰に痛みが生じたが残り10分程で終了時刻だったので作業を続けるも作業後も痛みが続いたため、腰にテーピングを施して帰宅したが、翌朝になっても痛みがおさまらず通院を開始した。	20	～
10	10～ 11	フェンス脇の生垣の刈込作業においてフェンスをまたいで刈込作業をしていたら、フェンスの老朽化及び劣化により、またいでいたフェンスが外れバランスを崩し、フェンスと共に5～6m下に落下。左ひじ複雑骨折、じん臓、ひ臓出血。	35	1 ～ 9
11	16～ 17	当社関連会社である工場内において柿の出荷作業中、柿の入ったプラスチック製のカゴ（重さ約20kg）を運ぶ為、両手で持ち上げた時に腰を捻り腰を痛めたものである。その日は1日仕事を行い、翌日も少し痛かったが1日仕事を行った。その後痛みがひどかった為、病院で治療を受けたものである。	25	1 ～ 9
12	10～11	収穫した野菜の入ったコンテナを運ぶとき、二人で持つため後ろ向きで歩いていたところ、入口の戸のレールに足を引っ掛けて、後ろ向きに転倒した。	68	10 ～ 29
12	10～11	果樹園でみかんの収穫作業をしているとき、コンテナに採収したみかんを移そうと、傾斜の急な斜面を移動している途中、体重が収穫かごの重さとともに一度に左足にかかった瞬間、左脛が肉離れを起こしたと考えられる。	73	1 ～ 9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html